

平成 29 年度事業報告

社会福祉法人 熊本県コロニー協会

【概況】

平成 25 年 4 月に「障害者自立支援法」が改正され、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称「障害者総合支援法」という)による 6 つの事業所運営、および平成 29 年 3 月 31 日付けで改正公布された社会福祉法に基づく法人運営を行った。

熊本福祉工場(就労継続支援 A・B 型)は、当協会の役割である障害者の社会的自立を果たすべく、H29 年度末で 32 名の障害者を雇用(職員を含めると 34 名)した。その中で、当初売上目標には届かなかったものの、779 千円(熊本地震災害補助金・お年玉寄附金収入を除く)の黒字決算となった。

熊本コロニー作業所は多機能型事業所(就労移行支援・就労継続支援 B 型・生活訓練)として、特に就職支援および作業量確保に重点をおいた運営(平成 29 年度就職者数 3 名、B 型平均工賃 15,851 円)を行った。

巨過園は、就労継続支援 B 型事業として利用者の工賃アップ等を計画し努力をした結果、平均工賃は 2 万円を超え 24,933 円となり、熊本県が策定している工賃向上 3 か年計画(平成 27~29 年度)の目標金額 15,800 円を大きく上回った。

きずな(共同生活援助)は、熊本地震で甚大な被害を受けた「グループホーム二本木」(定員 20 名)の災害復旧工事(約 144,000 千円)を行った。平成 29 年 8 月 25 日に建築会社との契約を行い、平成 30 年 4 月から定員数の入居が可能となった。

光(相談支援事業所)は、熊本市と委託契約を結んだ基本相談、および事業所指定を受けて運営する計画相談を実施してきたが、職員体制の問題から平成 30 年 3 月末にて閉鎖した。

平成 29 年 4 月にスタートした、あした(放課後等デイサービス)は当初計画どおりに利用者確保ができず、▲9,466 千円という厳しい運営となった。

積立金取崩を除く、協会全体の収入は 445,978 千円(補助金等収入 167,099 千円・就労支援事業収入 264,118 千円・サービス外、特別収入 14,761 千円)であった。支出は共通経費(時間外、電気料、コピー等)の削減等に取り組み、合計で 442,817 千円となり、法人総括では、熊本地震災害補助金等の特別収入を含め、黒字決算(約 3,161 千円)となった。